

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	日々の暮らしの中で、利用者様一人ひとりの希望や意思を大切に考えているが、その人らしい暮らしはなかなか出来ていない。	利用者様の生活歴や好みなどを把握した上で、1つでも多くの願いや希望を叶えられるよう支援していく。	利用者様の中には位牌や仏具・写真などを持ち込んでいる方もおり、今までの習慣もあり、好きな時にお供え物をしたいとの要望が聞かれるため、ご本人の意思を尊重しながらお手伝いしていきたい。	12か月
2	35	前回一度だけ、緊急時に地域の方々の協力を得て、避難誘導の訓練をしているが、定着はしていない。	緊急時・災害時には、地域の方々と協働して、利用者様を安全な場所に避難誘導できるように備えておく。	緊急時・災害時にも、いち早く情報をいただき、地域の一員として速やかに安全に避難ができるように、今後も地域の方と協働しての訓練を繰り返し実施して、定着を目指していく。	12か月
3	21	一人ひとりが孤立しないように職員が間に入り、交流を支援したり、話が合いそうな方同士の席を近くに作る等、工夫しているが、性格や年齢・生活歴の違いにより、トラブルも見られる。	利用者様同士のトラブルをなるべく防いで、楽しく毎日の生活を送れるよう支援していく。	レク活動や家事参加を通して、いつも同じ方同士が関わり合うのではなく、時には普段会話がないうちでも仲良く接する機会を設けながら、職員が間へ入り、支援していきたい。	12か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。